

第3回ワークショップが開催されました！

第3回新庁舎建設市民ワークショップ
日時：平成25年1月27日（日）14時から
場所：伊予市市民会館4階第6会議室

第3回目となるワークショップのテーマは「ユニバーサルデザイン*について」。当日は雪がちらつく中、多くの市民の方にご参加いただき、新庁舎のユニバーサルデザインについて、6つのグループで意見交換が行われました。

まず、前回（12月9日）のまとめが、ファシリテーターの広島工業大学の森保（もりやす）先生と設計者である日本設計から行われました。その後、他市の事例も交えながら、ユニバ

ーサルデザインについての説明がありました。

ワークショップでは、ユニバーサルデザインの計画が書き込まれた1階から5階までの庁舎平面図に、要望や質問、感想を書き込んだ付箋を貼り付けていくという形で進めました。

ユニバーサルデザイン*…文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力のいかに問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）のこと。つまりは「誰もが使いやすい庁舎に」、ということになります。

ユニバーサルデザインの7原則 —今までの原則—

1. どんな人でも公平に使えること
2. 使う上で自由度が高いこと
3. 使い方が簡単で、すぐに分かる事
4. 必要な情報がすぐに分かる事
5. うっかりミスが危険に繋がらない事
6. 身体への負担がかかり難い事
(弱い力でも使えること)
7. 接近や利用するための十分な大きさと空間を確保する事



ユニバーサルデザインによる 「新・建築デザイン」の原則 —いよモデル(仮)—

- ① 見えること
- ② 聞こえること
- ③ 感じること
- ④ 分かり易い事
- ⑤ 接近し易いこと、行き易いこと
- ⑥ 使い易いこと
- ⑦ 誰にとっても、こうした状態がかなうこと
- ⑧ どのような状況に対しても、こうした状態がかなうこと
- ⑨ 何時でも、こうした状態がかなうこと

ワークショップの様子を写真で紹介します。

前回の振り返りと今回のテーマについて



グループワーク



グループ発表



各グループの主な意見を紹介します。

A 班

障害者・車椅子利用者・子どもなど、カウンターや記載台にはそれぞれの身体特性に対応したものを配置してほしい

駐車場は人優先の造りであってほしい

人による案内や支援をお願いしたい

B 班

情報掲示板の高さ、角度を障害者の目線も考えて設置してほしい

誰もが容易に入
入りがいい

C 班

庁舎内の温度管理も考えてほしい

建物内のさまざま
なスペースの
大きさを広げて
通やすくして
ほしい

D 班

夜間や休日に利用
するときのユニバー
サルデザインも考え
てほしい

E 班

案内表示などの
サインは、文字を
少なく、絵で分
かるようにして
ほしい

誰にとっても分
かりやすい施設
になってほしい

F 班

多目的トイレが
複数あると安心
できる

多目的な利用が
できる議場にし
てはどうか

ユニバーサルデザインという少々難しいテーマではありましたが、誰もが使いやすい庁舎にするためにどうすればよいか、さまざまな意見が出ました。

第4回のテーマは「市民サービスについて」、第5回は「最終報告会、基本設計案」をテーマとして議論を進めていきます。